

平成22年1月25日
原子力安全対策課
(21-87)
<15時資料配付>

大飯発電所2号機の原子炉起動について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力117.5万kW）は、漏えい燃料集合体を特定するため、平成21年10月21日に原子炉を停止した。

調査の結果、2体の燃料集合体に漏えいが認められ、2体の燃料集合体は今後使用せず、詳細な原因調査のため、冷却後、試験研究施設へ搬出することとした。また、今回漏えいした燃料集合体と同一メーカー、同一時期に製造された燃料集合体については、詳細な原因調査の結果が判明するまで再使用しないこととした。

今後、燃料装荷等必要な作業を行い、1月下旬頃に原子炉を起動する予定である。

[平成21年12月25日 「原因と対策」記者発表済]

燃料取替作業として、燃料集合体全数193体のうち、漏えい燃料集合体2体を含む同一メーカー、同一時期に製造された燃料集合体36体および炉心の出力分布の平坦化を考慮した結果、合計53体（うち32体は新燃料集合体で、55,000MWd/t）を取り替えた。燃料装荷等必要な作業が終了し、原子炉起動準備が整ったことから、本日夜に原子炉を起動し、翌26日に臨界に達し、27日に発電を再開する予定である。

問い合わせ先(担当：内園) 内線2353・直通0776(20)0314
--